

学苑

November 2024 vol.169



アマチュア無線部



キャンパス父母懇談会



TDUプリコンサークル

vol.169
特集!

2024年度 父母懇談会報告 (キャンパス会場・地方会場)

参加者のみなさまからの声 p.3

就職キャリア支援 p.7

内定者インタビュー p.8

学部生紹介 p.13

各キャンパスの紹介 (CAMPUS MAP) p.18

サポート募金実施事業について p.19

Topics

イベント参加支援結果発表 p.14

TDU Space Project

FCV・EVプロジェクト

TDUプリコンサークル

アマチュア無線部

後援会活動報告

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

後援会では、5月開催の評議員会(総会)で承認された事業計画に基づき、事務局のご支援をいただきながら推進しております。その主な活動状況をご報告申し上げます。



後援会長
残間 直光

【総会】

5月25日(土)に評議員会(総会)を開催し、2023年度の振り返り(事業報告・決算報告)をしたうえで、2024年度の計画・予算案を審議いたしました。学生支援の予算を拡大できないかといったご意見をいただいておりますので、前向きに検討・調整していきたいと思っております。



【常任評議員会】

7月13日(土)に常任評議員会を開催し、学生支援の計画内容と予算1,988万円を審議しました。クラブ活動支援、学園祭支援、就職セミナー支援、研究活動支援、学食支援など多岐にわたる支援をしております。

また、後援会予算について、コロナ禍以降に学食支援等で支出が経常的に増加したことを受けて、支出の見直しとして学苑のペーパーレス化や父母懇談会の地方出張費用見直し等の対策案を起案したうえで、収入の見直しとして会費の改正案を検討しております。



【父母懇談会開催事業】

9月7日(土)から10月27日(日)の毎週末にキャンパス会場(2会場)・地方会場(9会場)で父母懇談会を開催いたしました。全体で1,149組(1,683名)の保証人各位にご来場いただき、教員との個人面談、大学職員との個別相談(成績・就職・奨学金等)で大学生生活全般について情報交換をしていただきました。



【広報活動】

キャンパス会場における学生の様子をお伝えする情報誌『学苑』を年3回発行しておりますが、2024年度からは7月号のみ紙媒体で郵送し、11月号・2月号はPDF版をご連絡する運営に変更いたしました。この運営変更により、印刷費・郵送費を年間300万円ほど支出削減が可能となります。

【学生支援活動】

8月31日(土)の常任評議員会において、学生によるイベント参加支援の審査を行いました(台風により書面審査を実施)。イベント参加支援の予算は131万円で計画しておりましたが、支出見直し(学苑のペーパーレス化、父母懇談会出張費用見直し)で400万円程度の予算削減が見込まれましたので、その中から99万円をイベント支援に配賦し、合計で230万円の費用支援を実施させていただきました。イベント内容については、本誌のP14 イベント参加支援結果報告ページをご覧ください。

2024年度 父母懇談会 事務局中間報告(キャンパス会場)

今日では多くの大学において父母懇談会が開催されておりますが、本学では他大学に先駆け1967(昭和42)年から父母懇談会を開催し、ご父母・保証人と後援会役員、大学教員、大学事務局と共に懇親を深めつつ、大学の状況、教育、生活をご父母・保証人へお伝えしてまいりました。

父母懇談会のキャンパス会場は、各学科・学系の教員が個人面談を実施しました。また、併せて、学修・就職・学生生活の個別相談コーナー(学生による大学院紹介を行いました)を設け、事務職員が対応いたしました。

東京千住キャンパス会場では、9月7日(土)に未来科学部、システムデザイン工学部、情報環境学部、9月14日(土)に工学部、工学部第二部の全学年を対象として、個人面談や個別相談のほか、ものづくりセンター、総合メディアセンター(2号館1階)の自由見学による開催をいたしました。

埼玉鳩山キャンパス会場も同様に、全学年を対象に9月21日(土)に開催することができました。

お陰様で、東京千住キャンパス会場・埼玉鳩山キャンパス会場共に、昨年のキャンパス会場の参加者より多くのご父母・保証人のみなさまにご出席いただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。

*父母懇談会のキャンパス会場にご参加いただいたご父母・保証人のみなさまより「父母懇談会参加者のみなさまからの声」が届いておりますので、ご覧ください。

*次号では、父母懇談会「地方会場」の報告を予定しています。

会場	開催日	後援会役員	面談教員	出席者数	
東京千住キャンパス	9/7(土) 未来科学部・システムデザイン工学部・ 情報環境学部	副会長・常任評議員 (6名)	各学科教員 (56名)	343組	506名
東京千住キャンパス	9/14(土) 工学部・工学部第二部	副会長・常任評議員 (3名)	各学科教員 (62名)	384組	526名
埼玉鳩山キャンパス	9/21(土) 理工学部	会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (55名)	262組	409名
本学キャンパス会場 計				989組	1,441名

後援会役員より父母懇談会の報告

●常任評議員 遠藤 雅子(9/7 東京千住キャンパス)

残暑厳しい中、多くのご父兄が来場されてきました。今回初めての参加で、勝手が分からず右往左往してしまいましたが、他の保護者の方とお話できるいい経験となりました。2名で来場されているご家庭が多く、お子様の教育に対する関心の高さが窺えました。

●常任評議員 高橋 愛(9/7 東京千住キャンパス)

暑い中でしたが、沢山のご父母の方々が参加してくださいました。お声掛けさせていただいた印象としては1年生や一人暮らしのお子さんのいる方が多いように感じました。学内を見学して、教職員の方々と交流して安心したのか笑顔が多かったように思います。初めての父母懇談会のお手伝いでしたが、よい経験になりました。

●常任評議員 高橋 浩一郎(9/14 東京千住キャンパス)

今回初めて東京千住キャンパスの父母懇談会に参加させていただきました。学生食堂でご来場の皆様に対応させていただきましたが、皆さんが満足されて帰られる姿が印象的でした。また学生アルバイトの方々から学生生活についてや、食堂の活用について聞くことができ大変有意義な父母懇談会となりました。

●常任評議員 増田 真由美(9/14 東京千住キャンパス)

まだ残暑がある中、沢山のご父母、保証人の方々が来校されました。個人面談等が終了したご父母、保証人の方々が学生食堂にてコーヒーとソフトクリームで休憩して頂きカードを返却される際、ものづくりセンターとメディアセンターの見学をお声掛けしたところ、多くの方々が後で行って見ます！とお答えいただき、キャンパスの設備にとっても関心が高い印象を受けました。学生食堂でメニューを見てお食事されている方々も多くいらっしゃいました。キャンパス内に入る事は中々ないと思いますので多くの方々にご来校いただくことができました。

●常任評議員 清水 圭世子(9/21 埼玉鳩山キャンパス)

来場者数は昨年度の2割増でした。個別相談ブースは大盛況で、長時間お待ちいただくことが想定されたため、今年はブースの数を増やし、新たに「大学院生と話そう」ブースも設置しました。例年待ち時間の長さが課題となっているため、対応策についても活発な意見交換がなされました。

●常任評議員 平田 麻里(9/21 埼玉鳩山キャンパス)

今回、個別相談ブースの受付として初めてお手伝いさせていただきました。来場されたご父母のみなさまのご理解やご協力と、運営側の息の合ったチームワークのおかげでスムーズに、そして大盛況のうちに終えることができました。



2024年度 父母懇談会報告 参加者のみなさまからの

キャンパス会場

声

後援会主催の父母懇談会では、学内の最新の情報やご子女の学修、就職状況など、タイムリーに紹介されております。
また、同じ大学で学ばれているご父母・保証人同士の交流や情報交換の場としても活用していただけます。
父母懇談会へぜひご参加ください。

2024年度 父母懇談会パンフレット



東京千住キャンパス会場
9月7日(土)

システムデザイン工学部
デザイン工学科
マーク ドナルドソン様
紀子 ドナルドソン様

息子は今年、大学に通うために家を離れました。
家を離れるのは息子にとって初めての経験だったので、私たちは息子のことをとても心配していました。
息子にどの程度のサポートを期待すればよいのかわからず、息子の生活状況や成績について常に不安でしたが、父母懇談会では、保護者と教員の面談ができると聞き、参加することにしました。面談では、息子の進捗状況を確認し、多くの質問をすることができ、とてもリラックスできました。
今回このような経験をすることができてとても感謝しています。
息子の大学生活や学校で受けている質の高いサポートについて、より深く理解することができました。大学のスタッフの皆様の継続的なサポートに心から感謝しています。

Our son moved away from our home this year to attend University. It was his first experience being away from home, so we were very nervous for him. We didn't know what level of support to expect for him. We were always anxious about his life situation and his results.
We heard about the parent-teacher conference and decided to attend.
During the interview we were able to review our son's progress and ask many questions which made us feel much more relaxed.
We are very grateful for this experience. It has given us a better understanding of our son's University life, and the quality support he is receiving at school. We sincerely thank all the staff at the University for their continued support.



東京千住キャンパス会場
9月7日(土)

未来科学部 建築学科
小宅 洋光様

2024年4月に、息子が東京電機大学の未来科学部建築学科に入学しました。父母懇談会は「東京千住キャンパスを見てみたい」ぐらいの軽い気持ちで参加しましたが、個人面談では今後のカリキュラムや大学院の進学について、とてもわかりやすく丁寧に教えていただき、気になってい

たことがスッキリ解消されました。帰宅後、教えていただいたことなどを息子に伝え、今後の指針を考えることが出来ました。
そのほか、美味しい珈琲やソフトクリームを頂きながら学食を体験させていただき、息子のキャンパスライフを垣間見ることが出来ました。また、当初の目的であったキャンパスを見学させていただき、息子の学びの環境がどれほど充実しているかを実感することが出来ました。
来年もぜひ参加させていただきたいと考えています。このような有意義な機会をいただき、心より感謝しております。ありがとうございました。

**東京千住キャンパス会場**
9月14日(土)工学部 先端機械工学科
大島 正子様

2024年4月に工学部先端機械工学科に息子が入学し、お世話になっております。

大学では保護者として関わる事もなくなると感じておりましたが、東京電機大学では父母懇談会があり参加させて頂きました。

個人面談では、担任の先生から直接成績表を頂き、出席状況や単位取得状況等大学生活を丁寧に教えて頂きました。息子の大学生活が垣間見ることができ、息子の頑張りを応援したいと感じました。

オープンキャンパスではコロナ禍で立ち入る事が出来なかった学食にも入る事が出来ました。そこで同じ学科の保護者の方々や後援会の方々と大学の事や部活、大学の設備など意見交換が出来て有意義な時間を過ごす事が出来ました。

是非来年度も参加させて頂きたいと思いました。

**東京千住キャンパス会場**
9月14日(土)工学部第二部 情報通信工学科
渡邊 隆様
知佳様

息子は幼少より自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを汲み取ったり、何気ない会話をする事が苦手でした。中学の時よりオンラインゲームにのめり込みその世界では大声で会話ができていました。

東京電機大学に入学後も食事以外は、パソコンの前で暮

らしている様なもので、大学生活を尋ねても「大丈夫。」の返答のみでしたが、父母懇談会に参加することで疑問を解消することができました。面談は、担当の先生が大変フレンドリーで話しやすい雰囲気の中で学業だけではなく、将来の仕事や働き方、息子の事も「そんな学生は、多いですよ」と笑ってお話してくださいました。高校や塾の先生が「電大は学生の面倒見が一番いいですよ。」と勧めてくれた事がよくわかりました。大学の教職員、関係者の皆様が学生一人一人を大切に育てる「技術は人なり」をまさに実践していることに深く感謝しています。

**埼玉鳩山キャンパス会場**
9月21日(土)理工学部 生命科学系
高橋 利光様

甥が理工学部生命科学系3年に在籍しております。

3年前より父母面談会に参加させていただいており、学生生活を知る上で大変良い機会になっております。

個人面談では、1年次より川井先生に親身に相談に乗っていただいております。実際に成績表を見ながら、成績状況や今後、何をすべきかなど詳しい話をしてくださり非常

に為になりました。教職員の皆さまにもご丁寧に対応いただきました。

個人面談後、成績と大学院の相談ブースにて、成績状況や進学についての話をお伺いし、安心することができました。特に大学院生のブースでは、リアルタイムの就学状況をお伺いし、大学院に進学する甥にとって、今後やるべきことが明確になり、とても有益な情報をいただきました。このように個人面談だけではなく、成績状況・就職・大学院の相談ブースを設けていただき、教職員の皆さま、後援会の皆さまには心より感謝申し上げます。次年度も宜しくお願いいたします。

奨学金制度のお知らせ

東京電機大学では下表に示すように10種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス(学生厚生担当)まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	(2023年度)採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月	学部 280,000円 博士課程 505,000円	—	学部25名 大学院(博士) 29名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	4月	7月	200,000円	—	学部115名
大学院進学貸与奨学金 (貸与)	本学大学院修士課程へ学内推薦入試または一般入試(前期)にて進学予定の者。	4月と8月の 年2回	6月 10月	第2回入学手續金の うち授業料相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	19名
学生応急奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		学部 50万円の範囲内 で決定 大学院 30万円の範囲内 で決定	—	0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の 年2回	7月 11月	250,000円	—	3名
深井綾女性研究者・技術者 育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科 (社会人コース)在籍 者は66,000円	—	92名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の 年2回	6月 11月	該当学期(セメスター) 分の学費相当額。 奨学金は学費に充当 する。	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	12名
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲内 で査定	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の 年2回	6月 11月	該当学期の 学費相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	2名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事務の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年2回		1回に納入する学費 等の相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。	4月と9月の 年2回	6月 11月	奨学金の種類等により 月額2万円～12万円 (学部)	卒業7か月後から 機構が定める 金額・期間で割 賦返済。	在学生の 約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。学部生のみ。	4月と9月の 年2回	6月 11月	経済基準及び通学形 態等により 月額12,800円～ 75,800円	—	学部 約700名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間団体の奨学金募集が数多くあり、毎年30～50名程度が利用。					

東京千住キャンパス地域との交流



東京千住キャンパス開設年度より継続して協力している、千住本氷川神社例祭神輿担ぎに本年度もボランティア部および旭祭実行委員会が参加してまいりました。



昨年度に引き続きの協力となり、前回参加した学生が今年も参加するなど協力学生団体の中でも継続性が生まれてきています。学生団体の学生が神輿担ぎに協力することで、地域の皆さんと交流が深まり、千住地区が大いに盛り上がりました。

当日は雨の心配もありましたが、開催中は降ることなく比較的気温も低かったため、ボランティア部および旭祭実行委員会の両団体の学生に熱中症になった者やけが人は無く終了しました。



特集

東京電機大学

就職キャリア支援

～一人ひとりが主体的にキャリアをデザインする力をサポート～

■学科・学系と連携し進路・就職ガイダンスを開催

進路・就職ガイダンスは各学科・学系の就職担当教員と連携して3年生になる直前の3月と3年生の後期の初めに開催しています。1回目のガイダンスでは、就職活動の流れやインターンシップの重要性などを伝えています。学科・学系からは研究室配属や大学院進学などについて説明があります。2回目のガイダンスでは、前期の活動を踏まえながら希望の進路に向かって実際に活動していくための必要な情報等について共有しています。自己分析講座、業界・職種研究セミナー・面接対策講座・グループディスカッションなど様々な支援を実施しています。

■就職と進学で悩む学生の支援

進路を選択する際、大学院に進学するか、就職にするかといった相談が毎年あります。最近では企業の採用が早期化傾向にあるため、焦って決めてしまわないよう、ご家族でよく話し合っ決めて欲しいと思います。本学では、教員、就職担当職員、キャリアアドバイザー、卒業生、先輩学生など多様な支援を展開しています。

また、本学では就職支援だけでなく、大学院進学に関する支援も行っています。10月には現役の大学院生(修士)によるトークライブをオンラインで開催します。主な内容は大学院生の一日の生活や、就職活動などについてです。11月には、本学の大学院(修士課程)を修了し企業で活躍している先輩による座談会をオンラインで開催し、社会で必要な力や学部と大学院の違いなどについて話をさせていただきました。

■キャリア支援最大のイベント「卒業生による仕事研究セミナー」を開催

卒業生から直接仕事の話を知ることができる「卒業生による仕事研究セミナー」は、学生から満足度の高いイベントの一つです。

本セミナーは、後援会よりご支援をいただいております。今年度は、渋谷で対面型のセミナーと自宅から参加できるオンライン型の2種類で開催する予定です。対面での開催は12月17日(火)、オンラインでは1月27(月)～29日(水)に開催いたします。12月17日(火)はこのイベント開催のために授業はありません。

対面とオンラインを合わせると約300社の企業の卒業生から仕事の話や、やりがい、更には卒業生ならではのアドバイスなど貴重な情報を得ることが出来ます。学生たちは先輩の話や魅力をj知る絶好の機会であり、普段、社会人と接する機会が少ない学生にとっては卒業生と会話をするこjでコミュニケーションの重要性を確認する上でも貴重な経験をすることができます。

このセミナーに参加するために学生には事前説明会を開催し、予め企業研究をするなど準備をしっかりと整えて参加できるように支援を行っています。採用試験においてはオンラインと対面の2つのパターンで面接試験を実施する企業が多いため、それぞれに参加することで話の伝え方や印象の違いを実感して欲しいと思います。低学年や大学院進学が決まった4年生も参加できます。



未来への道標



工学部 機械工学科
東海林 一翔さん

内定先 株式会社イトーキ

—— 学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)

私は、2、3年次で履修した「機械設計製図」の授業を通して設計開発の仕事に興味を持ちました。計算や図面の作成など大変なことが多い授業でしたが、友人と話し合いを重ねた時間や完成した時の達成感は非常に魅力的なもので、「これを仕事にしたい!」と感じました。卒業研究では、ハイドロゲル試料に関する研究を行っています。仕事に直結する分野ではないものの、研究を進める際の論理的思考力や言語化する力は社会人になってからも役立つと考えています。

—— 学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

私は、大学1年次から塾講師のアルバイトをしています。中高生の指導をするなかで、話し方や伝え方がとても重要であることを実感しました。円滑なコミュニケーションには相手の立場に立って考え、伝えることが必要であり、この考え方や伝え方は就職活動においても活かすことができました点です。学業やアルバイトを継続して取り組んだことはとても充実した貴重な経験だったと思います。

—— 就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行なったことや役立ったことなど)

自己分析を第一に行いました。私は大学でサークルや部活動に入っていなかったため、自己PRに悩んでいましたが、これまでの人生を振り返り、大学で学んできたことや高校

も含め自分で考え取り組んだこと、そこから得たことを深掘りし、強みを見つけることができました。

面接では目線や声の大きさ、トーンに注意して話し、自分の強みが将来どのように活かせるかを端的に伝えることを意識しました。相手に自分を知ってもらおうということを一番に考え面接に臨むようにしていました。

—— 就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

就職活動中の悩みや不安を否定することなく聞いてくれたり、会社選びをする上で見た方が良いところやその企業のどんなところが良いかなどを教えてくれたりと、就職活動に協力してくれました。家族に話すことで面接などに対しても気負いせずに臨むことができました。

—— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

自分はずっと他の業界を志望していましたが、2月にインターンシップに参加をして、これまで触れてこなかった全く新しい業界に興味を持ちました。自分がどこに惹かれるかは触れてみないとわからないと思うので、常に視野を広く持つことが大事だと思います。

また、自分は周囲に流されてしまうことが多かったのですが、就活を頑張っている友達が近くに居たおかげで最後まで折れずに続けることができました。まわりを頼りながら、自分がやってきたことを信じて最後まで頑張ってください!



全滅で落ち込んだ就職活動での 両親からの励まし



工学部第二部 情報通信工学科
山中 櫻子さん

内定先 東京エレクトロン

— 学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)

実験には意欲的に参加するよう心掛けました。情報通信工学科では幅広いジャンルの実験を行うことが出来たので知見を広げる良い機会でした。また、東京電機大学では他学部履修も可能なので自分の学科の講義だけでなく、興味のある他学部の講義を履修することで学業のモチベーションを保つことが出来ました。

— 学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

学園祭の実行委員会に参加したことが強い『ガクチカ』になりました。特に2年次には企画局長、3年次は委員長として組織のリーダー的役割で委員会活動に携わったことで、主体性やリーダーシップを評価して頂きました。また、軽音学部にも所属したり、海外へ単身で旅行をしたりとネットワークを軽く、興味をもったものに積極的にチャレンジすることで自ずと自分についてのエピソードが溜まりました。

— 就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

1番役に立ったのは就活エージェントでした。ある特定の企業と学生を繋ぐ就活エージェントだったが1次面接から最終面接までを全て対応して頂き、やみくもに面接回答を考えるのではなく“〇〇を聞いてきたということは、この企業はこういう答えが欲しいからこう答えるべき”というよう

なセオリーを教えてくださいました。就活エージェントから教わったことを他の企業面接でも応用することができ、頭で理解して面接対策を行う大切さがわかりました。

— 就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

父母には主にメンタル面で支えてもらいました。8月から就活を始め、周りにも今年中には受かりそうだね、と言われていたものの12月まで5社全滅(全て1次落選)でした。かなり落ち込んでしまい、家では“院進する”だの“もうどこにも入れない”だの常に弱気だったところを母には面接練習を手伝ってもらったり、父には会社の見方について教えてもらったりと励ましてもらい、なんとか諦めずに就活を続けることができました。

— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

興味のあることに全力で取り組むことが出来れば自然と就活の場で話すエピソードは出来上がるので特に1,2年次は“やりたいこと、興味があることを見つける、実行する”が大事だと思います。3年次にはとりあえず“就活”に飛び込んでみて感覚をつかむ、いろいろな人に相談して自分を“魅せる”練習をすることが大事だと思います。それが出来れば企業はあなたの魅力にきっと気づいてくれます。大学生生活楽しんでください！



挑戦を楽しむ、という境地へ



未来科学部 建築学科
檜島 多香美さん

内定先 大和ハウス工業

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)。

1年次から授業で出てきた建築物・建築家の展示等を常にチェックし巡っていたことで、建築物を見るのが趣味となりモチベーションに繋がりました。

建築設計製図では、住宅から小学校まで幅広い建築物の設計を行いました。私はアイディアマンではない為時には厳しい評価も頂きましたが、できないなりに努力し頑張りました。気づけば夢中になって設計していた時期もあり、大学生活で最も力を入れた科目でした。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

学生の間にできることを経験しておきたいと常にも思っていたため、学外では様々な地域イベントに参加しボランティアをしていました。学内では旭祭実行委員会に所属し、最も力を入れ取り組んでいました。1-2年生ではイベントの立案・計画・運営を担当し、3年生では財務となり幹部として旭祭全体を牽引しました。イベントの担責として現場に立ち仕事をしたこと、旭祭全体のお金を総括し管理をしたこと、どれも協調性を大切にし責任をもって仕事に取り組みました。委員会の仲間と同じ目標に向かって切磋琢磨し合い活動ができとても良い経験となりました。また、外部の方々からお褒めの言葉をいただいた際は大変嬉しく思い、大きな達成感を味わいました。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったり役立ったことなど)

学内の就職支援サポートに頼り、キャリアアドバイザー

の方とES添削や面接練習を行ったことが良かったと感じています。早い段階から自己分析を始めたことで自分の軸を見つけアピールすることができました。建築学科は1月上旬になると進級試験やDP6の最終講評が重なり早期選考の対策に時間を費やせないため、早い段階から対策をするべきだと思います。実際私は、web試験の対策を怠り早期選考では大変苦労しましたが、この失敗を経験したことで通常選考では十分に対策を行い良い結果を残すことができました。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

業界研究をした際に、建築の中でも沢山の分野があることを知りどの業界に進もうか迷い行き詰まりました。そこで、両親が相談に乗り意見を尊重してくれたことで、自分に合った企業を見つけることができました。

また、最終選考前は「がんばって！」と一言応援のメッセージをいただいたことで緊張しすぎることなく自信を持って挑むことができました。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動に緊張や不安を持たれている方も多いかと思います。何事にも前向きに挑戦し最後まであきらめないことが大切だと思っています。できることは行動に移さなければ可能性で終わってしまいます。ぜひ挑戦することを楽しむ気持ちで頑張ってください。



就活を支えた学びと経験



システムデザイン学部 デザイン工学科
横田 祐己さん

内定先 株式会社 SUBARU

— 学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)

私が就職活動で役立ったのは、デザイン工学プロジェクトBでのラジコン制作です。小学生から車に興味があり、特に自動運転に関心を持っていました。この経験から、授業で障害物を自動で回避するラジコンを制作し、その過程で得た知識とスキルが面接で評価されました。Pythonを使った制御もSUBARUのADAS事業に興味を持つきっかけとなり、就活での強みとなりました。

— 学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

就職活動で役立ったのは、サークルでの役員経験です。サークル活動ではイベントの計画や人をまとめる力を学びました。また、先輩や教授に助けをもらいながらプログラミングを独学で習得した経験も、困難な状況に対処する力を養いました。これらの経験は、説明会や面接で積極的に話す姿勢を身につけることに役立ちました。

— 就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行なったことや役立ったことなど)

就職活動で役立ったのは、対面での情報収集です。大学主催のイベントに参加し、OBや先輩方から実際に役立つ意見を聞くことができました。同じ学部出身の先輩と話すことで、授業の活用法や同じ学部の人がどのように就活を行ったかを知ることができ、対策が立てやすくなりました。先輩方の経験談を通して、就活に自信を持ってました。



— 就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

就職活動で役立ったのは、両親からの仕送りです。アルバイトができない私の状況を考慮し、普段より多めに仕送りをしていただきました。

また、体調を気遣って食材も送ってくれたことで、安心して就活に集中できました。これらの支えが、就職活動の大きな原動力となりました。

— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

自己分析は早めに始めることが大切です。私も昨年の5月から準備を始め、自己PRや選考対策、インターン応募を行いました。途中で不安に感じることもありましたが、先輩や友人の支えが大きな助けとなりました。

これから就活を始める皆さんも、自信を持って挑戦してください。応援しています！



たくさんの経験が充実の学生生活・就職活動に



理工学部 理工学科理学系

加藤 千尋さん

内定先 トヨタ自動車株式会社

— 学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)

教職課程のある大学で数学と情報を学ぶために理工学部理学系に入学し、数理情報学コースを選択しました。授業、教職、研究、課外活動を並行して取り組むことは大変でしたが、授業での興味を課外活動で活かすなど、それぞれが相互に関係しあう中で学びを深めた学生生活でした。

特に、プログラミングの基礎やアルゴリズムを学ぶ中で、実際にコードを書いてものを動かしたいと考え始めた頃、トヨタ女性技術者育成基金の活動に参加をする中で、ラジコンカーを作り、チームでレースに参加する機会がありました。大学で学んだことが、ものづくりにどう活かせるのかすぐに体感できたことは貴重な経験となりました。

— 学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

母が勤めてくれたトヨタ女性技術者育成基金という女性技術者の育成と奨学金がセットになったプログラムに参加し、1年生の頃からトヨタグループの女性エンジニアの方のお話を聞く機会がありました。プログラムで知り合った仲間と参加したラジコンカーレースでは、初参加の時には完走できない悔しい経験をしました。次の年はチームリーダーに立候補し、改善を重ねて完走することが出来ました。この他にも、小学生と旅行に行くボランティアや学内での小学生向け青空実験教室のメンバーとしても活動し、こういった場面では教職の授業で学んだことを実践することが出来ました。

様々な活動を通し、チーム力や相手に伝える能力など、学びと実践を繰り返して経験が深まったと感じています。

— 就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

大学の就職担当の方のアドバイスがとても役に立ちました。大学で開催される就職活動の講座の紹介もしていただきました。ESの添削や面接練習はキャリアアドバイザーの方に予約を入れて何度も練習し、面接直前には良い部分を褒めていただき、自信を持って面接に挑むことが出来ました。

— 就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

両親は私のやりたいことを肯定し、適度な距離で見守っていてくれたため、安心して就職活動に臨むことができました。自己分析やESの書き方で迷った際には、一番近くで私を見ているからこそ「あなたが取り組んできたことは他のみんなも同じように出来るのではなく、強いアピールになる」といったアドバイスをしてくれました。今思い返してみると、自分を肯定してくれたことが励みになりました。

— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

高校までよりも自由度が増す分、積極的に行動したり、話を聞いたりしてとにかく経験を重ねていくと良いと思います。様々なことに挑戦した経験は、就職活動中に自分のことを理解したり(自己分析)、アピールできるポイントになったりする(学生時代に力を入れたこと)と感じました。

また、私は友人や家族、大学の就職担当の方、同じく就職活動をしている同期など、多くの人に支えていただきました。相手から見た私は「何が必要で何が強みなのか」。周りの人にたくさんアドバイスを貰うことで、客観的に自分を見ることができ、学生生活での活動や自分の強みに自信を持つことができました。また、仕事をする上でどのように役立つかを分析することにつながり、入社後にどのように働いていくかのイメージも膨らんでいきました。支えてくださった多くの方々、本当にありがとうございました。



学部生紹介
Interview

宮本 和哉さん

工学部
情報通信工学科 4年

東京電機大学へ入学したきっかけ

私が高校2年生の時、オープンキャンパスで初めて東京電機大学を訪問しました。その際にお会いした学部生や院生の方がとても丁寧にお話ししてください、温厚な方が多く雰囲気の良い大学だと感じるとともに、東京千住キャンパスの駅からのアクセスの良さもあり東京電機大学に入学しました。

授業との向き合い方
(現在の学科での勉強について)

私は中学生の頃からプログラミングに触れていましたが、新たにハードウェア領域も学んでみたいと感じて情報通信工学科に入学し、現在はソフトウェアとハードウェアの内容をバランス良く勉強しています。インターンや課外活動と並行して授業に取り組めるよう、英語科目ではTOEICでの単位認定を活用するとともに、専門科目以外の選択科目は卒業までに少しずつ履修することで無理なく受講できました。

課外活動について

●放送委員会

高校で軽音楽部に所属して音響を担当していたこともあり、1年生から放送委員会に所属しました。1年生の最初のうちはあまり積極的に参加できていませんでしたが、旭祭をきっかけに深く活動に関わるようになり、2年生では音響班長、3年生では委員長として委員会を取りまとめていました。学生団体の特性上、組織全体を一度に動かすことは難しく、またコロナ禍明けということもあり困難も多くありました。しかし優秀な同期と後輩の力もあり、より多くの学生団体



と活動する機会を設けたり、合宿を復活させたりなど、通常の組織運営と並行して組織をより良くしてい



く取り組みを進められました。引き継ぎなどはまだまだ不完全で、後輩に負担をかけてしまっている点もあるため、4年生のうちに自分にできることをもっと進めていきたいと考えています。

●DENDAI e-sports

1年生の時に同じキャンパスの友人に誘われて、eスポーツ(ゲーム)の大会を主催する有志団体に所属しました。もともとは参加者と連絡を取る場所の整備の担当として誘われたのですが、私が以前からYouTubeでの映像配信やデザインなどを趣味でやっていたこともあり、気がついたら配信全般の作業を担当していました。大会の企画等にも携わり、ボツになってしまった企画もいくつかありましたが、自分がこれまでやってきたことだけでなく、企画という新しい領域にも触れることができ、非常に良い経験ができたと感じています。現在は埼玉鳩山キャンパスのサークルとして登録されており、後輩が運営していく今後の大会をとっても楽しみにしています。

4年生での目標

大学生最後の1年では、卒業研究に取り組むことはもちろん、課外活動を通じて得た自身の経験を後輩に受け継いでいけるよう、自身の知識を文章に起こしていくとともに、個人でワークショップを主催したいと考えています。夏休み中は別のことに取り組んでいたため、冬休みなどの長期休暇を活用して開催出来ればと計画中です。また、学生団体の運営をより良くしていくためのシステム作りや、卒業後に後輩を困らせることが無いような引き継ぎを進めていきたいと考えています。

就職活動について

私はインターン経由で就職活動を行ったため、大学のキャリアサポートを積極的に利用することはできませんでしたが、1年生から就職活動に関する講座が何度も設けられており、頻繁に就職情報に関するメールも届いているため、キャリアサポートを利用すれば不安なく就職活動を進められると感じました。



TDU Space Project

TDU Space Project ARLISS2024 結果報告

理工学部 機械工学系 4年 チームリーダー 青柳 洸太郎



砂漠でのテストの様子

ロケット打ち上げの様子

ゴール後の機体

私たちTDU Space Projectは模擬惑星探査機CanSatの設計、開発を行い、9月にアメリカで開催される国際大会ARLISS (A Rocket Launch for International Student Satellites)と3月に開催される種子島ロケットコンテストに毎年出場しています。CanSatとは飲料缶サイズの小型人工衛星の通称です。私たちは人工衛星から派生したローバー型の自律走行型の探査機を開発しています。

9月8日から9月11日にかけてネバダ州のブラックロック砂漠で開催されたARLISSに参加してきました。この大会はCanSatの大会の中でも最も困難といわれる大会であり、今年は日本国内外から18チームが参加しました。大会ではCanSatをロケットに搭載し、上空4000mまで打ち上げ、パラシュートで減速降下します。着地後はパラシュートを切り離して走行し、砂漠の中をあらかじめ指定されたゴールに向かいます。機体の制御はすべて自律制御で行われ、最終的にゴールに近い機体の優勝となります。

大会は4日間行われ、私たちは期間中2回の打ち上げを行いました。2回ともにパラシュートの分離に失敗し、上空でパラシュートが切り離されてしまい、高速で地上に衝突、リタイアとなりました。1回目は分離に用いる気圧センサが

ら取得するパラメータの計算方法を誤ったことにより上空1200mで分離し、2回目はプログラム内のロケット最高到達点後からの分離パラメータがテスト用の小さい値になっていたことにより上空2000mで分離が行われ、リタイアとなりました。2回の自由落下は非常に大きな衝撃が加わり、機体はホイールなどが破損したものの、内部の基板やボディに大きなダメージはなく、機体の強度や耐久性を確認することができました。また、2回目の打ち上げ時はカメラデータの取得に成功し、チーム初となる上空からの写真を取得し、降下中の機体の様子が詳細にわかるデータを入手することができました。

今回の結果から制御の面について改めて見直す必要がある点や、現時点の機体の課題についてハードウェアおよびソフトウェアの両面で発見することができました。また、今回カメラによる降下中の様子を取得できたことから、CanSatでトラブルの多いパラシュート分離までの動作をより確実に行えるよう活かしていきます。今大会の経験を踏まえ、3月に行われる種子島ロケットコンテスト、および来年度のARLISSで優勝できるよう、チーム一丸となってより一層精進してまいります。

東京電機大学 FCV・EV プロジェクト

バッカス 2024 ～未来を見据えて～

工学部 電気電子工学科 4年

大塚 行人



東京電機大学FCV・EVプロジェクトは、先生、OB、企業の協力を得て、今年の8月に秋田県大潟村で開催された、世界三大ソーラーカーラリーレースのひとつである、ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカーラリー(WGC)に参加しました。本大会はクリーンなエネルギーを用いた自動車のレースです。このレースは速度を競うものではなく、省エネ技術を含む持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、あらゆる提案を目的とした大会になっています。

私たちは、実学尊重の精神に基づき学科の垣根を越えて自動車製作を行っています。自動車はゼロからすべてを製作しようとすると自身の学科で学んできたことだけでは製作することができません。そこで様々な学科のメンバーで切磋琢磨しながら自動車製作を通して本学のOB・OGのような優秀な技術者、研究者になることを目的として授業後や休日を利用して活動しています。また、OBや先生方からもアドバイスをいただきながら実験や製作、改良を繰り返し、ものづくりの面白さや難しさを感じ、座学だけでは得ることのできない、貴重な経験ができました。

今年度の大会では、昨年度よりも好成績を残すため加速性能に着目し新設計のトランスミッションやインバータを搭載し

てレースに臨みました。

大会1日目では走行データ取得のため昨年度まで使用していたトランスミッションで走行し始めましたが、経年劣化による機械系部品の損傷により15km地点でリタイヤを余儀なくされる結果となってしまいました。ピットに帰還後、新設計のトランスミッションで再スタートを切ろうとしましたが、時間制限により1日目の再出走はかないませんでした。

1日目終了後、大会2日目に向けて作業を進めていましたが大型の台風5号の接近に伴い、指導教員の判断のもと安全を考慮して2日目には出走せずに帰校することになってしまいました。

不完全燃焼な結果に終わってしまい、とても残念に思いますが今回の大会に参加したことで得た経験や技術を活かし現在は故障した電気部品の原因究明や改良、来年度の大会に向けた電気回路や機械系部品の改良や新規設計を行っています。最後に、私達の活動にご理解をいただき、多大なる支援をいただいた後援会の皆様に深く感謝致します。今後も公道を走る一人乗りの走りの面白さを感じられる電気自動車の実現に向けて、活動を続けていきますので、温かいご支援のほどよろしくお願い致します。

TDUプリコンサークル

JSBC2024活動報告

理工学部 建築・都市環境学系 4年

戸塚 美里



私たちTDUプリコンサークルは、2024/09/11～09/13に京都大学で開催されたJSBC2024(Japan Steel Bridge Competition 2024;通称プリコン)に出場しました。

長さ約4mの鋼製橋梁模型を学生自らが計画立案・設計製作を行い、強度や組み立ての速さ、美しさを競います。

5月にルールブックが公開され、そのルールの中でより良い橋梁を創れるように努力しました。自然環境に恵まれた鳩山キャンパスを多くの人に知ってもらいたいと思い、「鳩」と「山」をトラス構造で表現した橋梁を設計することにしました。トラス構造は、デザイン性が高く、丈夫で軽量化が可能といった数々のメリットがある橋梁形式です。しかし、構造が複雑で上弦材や下弦材、斜材などさまざまな材料が必要になり、材料同士を交差させるため接合部が複雑になります。そのため、架設練習を何度も繰り返し練習する必要がありました。

今回は、橋梁の圧縮と引張の接合方法を工夫しました。圧縮が強く働く上限材には、材料をボルトで予め力強く締め材料同士の隙間を減らしました。引張ではプロトタイプ作成時にて、下限材の水平の揺れが大きく課題として挙げられました。そのため、筋交いを用いて変位を抑える工夫をしました。実際にバネばかりを用いて計測すると、

10mmの変位を筋交いによって抑えることができました。

大会当日では、沢山の参加チームのユニークな橋梁を見ることができアイデアの引き出しを増やすことが出来ました。新たな技術を学び、試行錯誤を重ねて良い方向に磨き上げることが、ものづくりの楽しさだと思います。

結果は、架設競技において制限時間30分を超えてしまいました。載荷競技では規定重量200kgまでのところ150kgまでの載荷となりました。

活動していく中で作業がうまく進まなかったり、失敗することで沢山の学びがありました。メンバーと協力して一つの橋を作り上げる難しさややりがいを享受することができました。

橋梁の模型サイズでさえも、何ヶ月も作成に時間がかかりました。実際の橋梁は、設計から施工まで多大な時間がかかり費用も何十億円とかかると考えると、インフラの規模の大きさを改めて実感させられます。日本にある橋梁すべてに沢山の時間と人手が掛けられていることが分かりました。

最後にプリコン参加にあたり、顧問の宮地一裕准教授、千住ものづくりセンターの技術員さん、後援会の方々等ご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

アマチュア無線部

日本アマチュア無線連盟主催

第67回フィールドデーコンテスト 活動報告

工学部 情報通信工学科 2年
大瀧 祥太



私たちアマチュア無線部は、平日頃より無線局の運用から始まり、電子工作、プログラミング、そしてアマチュア無線の大会への参加などを行っております。活動範囲は弊学内のみならず、他大学の団体と技術交流なども行っており幅広く活動しております。

この度、アマチュア無線部は8月3日から4日にかけての2日間にて、日本アマチュア無線連盟主催 第67回フィールドデーコンテスト というアマチュア無線の大会に参加致しました。この大会は、アマチュア無線局の運用を屋外から行う事を目的としています。その為、静岡県の伊東市にて、標高1000mの山から参加しました。

東京電機大学には、屋上付近にてそのような設備が完備されておりますが、そのような環境を山でも設営する必要がありました。ですので、トラックなどに無線機・アンテナ・コンテスト用のパソコン等を輸送し、通信環境を設営いたしました。その際に日頃はあまり使わない発電機から始まり、アンテナの組み立て、テントの組み立てなどの様々な

貴重な体験ができました。

そして、私たちは 電信電話部門 マルチオペオールバンド部門 に参加致しました。こちらの部門では、大会運営が許可している周波数帯で電信(モールス符号の送信)・電話(音声通信)を用いて交信し、交信した局数と交信した地域の数を競い合い、最も成績の良い団体が優勝となります。本大会はアマチュア無線の大会の中でも特に大きな大会ですので、全国から様々な無線局・団体が参加します。その為、昼夜問わず交信しており、アマチュア無線部の設営拠点も盛況でございました。

大会に参加した結果ですが、3.5MHz～1200MHzまでの周波数帯で全国約500局と交信する事ができました。今後の展望ですが、旭祭や他大学との技術交流を積極的に行っていきます。その他にも、部員の無線運用スキルを磨く為に、学内での運用をはじめ、野外での運用も考えております。

東京千住キャンパス

11号館 (複合施設)

ロジシア
丹羽ホール
100周年ホール
カフェ(イタリアントマトJr.)
ギャラリー
実験・実習室
ワークショップ教室
教員室・研究室
セミナー室
学生ラウンジ
ルーフガーデン1
入試センター
国際センター
法人・大学本部
校友会
総合受付

22号館 (図書館・教室)

図書館
教室・パソコン教室
学生ラウンジ
ルーフガーデン2
東京千住キャンパス事務部
学生支援センター
総合メディアセンター
健康・学生相談室
受付

33号館 (学生厚生施設)

食堂
カフェラウンジ
売店
学生ラウンジ
体育館
武道場
トレーニングルーム
学生部室

44号館 (研究施設)

実験・実習室
教員室・研究室
教室
セミナー室
学生ラウンジ
受付

55号館

教室
実験・実習室
教室・研究室
ものづくりセンター千住
学生ラウンジ
民間スポーツクラブ
ルーフガーデン3
総合メディアセンター
情報環境学部事務部
受付



埼玉鳩山キャンパス

11号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
(図書閲覧室)
研究室
ATM

22号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
研究室
実験室
夢工房

33号館

教室
研究室
化学実験室

44号館

第1学生食堂「樺」
喫茶「HATO CAFE」
理容室・郵便局

55号館

体育館

66号館

教室
研究室
実験室

77号館

第2学生食堂「樹海」

88号館

教室
物理実験室
研究室

99号館 (100周年記念棟)

自習室
クラブ・委員会室
ラウンジ・売店
リエゾン施設
談話室

1010号館 (本館)

エントランスホール
事務室
プレゼンテーションホール
メディアルーム
教室
パソコン教室

1111号館

総合研究所
埼玉共同利用施設

1212号館

アトリウム
学習サポートセンター
国際センター鳩山ランチ

1313号館

教室
実験室
研究室
バーチャルスタジオ

13多目的広場



令和5年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援等」「その他」の用途区分で募金活動を行い、1,235件、65,194,172円(内ご父母123件、2,809,112円)のご寄付を賜りました。

また、令和5年度につきましても、学生・生徒への支援に際し、大学院、大学、高等学校、中学校に在学する学生・生徒のご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員・元教職員や一般賛同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜りました。皆様からのご厚志に心より御礼申し上げます。

今後とも、本学園に対しまして、ご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、サポート募金を原資として実施した各事業につきましても、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長
学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
石塚 昌昭

1. 東京千住キャンパス、埼玉鳩山キャンパス「ものづくりセンター」

平成29年に東京千住キャンパスに開設された「ものづくりセンター」は、「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化する最新施設です。施設内では、安全講習・加工講習など、各種講習会の開催やプロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談などが行われ、学生の技術的思考の涵養・学生主体のものづくりを支援するための教育を推進しています。

また、令和4年度より試行運用していた埼玉鳩山キャンパスも、令和6年度の4月より本格運用を開始する運びとなりました。そのため、主に埼玉鳩山キャンパスの環境整備に重点をおき、3Dプリンタや超小型マシニングセンタ、CO2レーザー加工機等を導入しています。東京千住キャンパスにつきましても、3Dプリンタのリプレースを行い、学生の利用に支障をきたすことのないよう環境を整備し、学生のものづくり活動を強力にサポートすることができました。

今後も対面・オンラインを相補的に活用し、また、ご支援により導入した機器を活用しながら、高品質なサービス・支援を効率的に提供いたします。



加工講習の様子



超小型マシニングセンタ

2. 研究推進社会連携センター(CRC)

教育・研究活動を通じて産官学連携ならびに地域連携を推進し、地域社会の活性化に貢献するため、毎年様々な取り組みを推進しています。

令和5年度も、本学研究者による「理科実験教室」や「親子電気教室」、本学学生による「学生団体によるプログラミング教室」など、体験型講座を24講座開催し、地域の皆様に参加していただきました。サポート募金は、工作に必要な消耗品の購入や人件費等に使用させていただきました。



3. 施設・設備の充実

(1) 東京千住キャンパス

教育・研究環境の整備のために、授業担当教員への貸し出しノートパソコンの購入と、大学院フリーアドレス研究室の利便性向上を目的とした座席予約アプリの導入を実施しました。



東京千住キャンパス5号館 10階大学院フリーアドレス研究室

(2) 埼玉鳩山キャンパス

総合グラウンドの観客席座面にスノコを設置しました。コンクリート打ちっばなしの形状のため雨の日は利用が困難でしたが、スノコの設置により雨天時も着席が可能になり、利用者の利便性が向上しました。



(3) 東京小金井キャンパス

①女子更衣室の改修

女子更衣室の改修工事を行い、生徒たちが快適に使用できるように環境改善に努めました。

②食堂用自動券売機購入

新紙幣に対応した食堂用自動券売機を新たに購入しました。

③総合案内板設置

学校内にある総合案内板を新しく設置しました。



4. 現物寄付

同和工業株式会社(代表取締役 岡明宏様)より、教育用コンパクトマシンングセンター一式を、工学部機械工学科に寄贈いただきました。

寄贈いただきました機器は、学生たちの教育・研究のため、有意義に使用させていただきます。



5. 奨学金の充実

(1) 大学

① 学生サポート給付奨学金

サポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金制度」は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限る50万円給付のもと、在学中2回までに限る25万円給付の2つの奨学金が用意してあります。令和5年度は、3名の学生に対し給付いたしました。

また、大学院進学制度として推薦入試による大学院合格者のうち、学費支弁が困難な学生に対して入学金相当額の8万円を給付する奨学金を用意しており、令和5年度は、12名の学生に対して給付いたしました。

② 東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を実施しています。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としています。

令和5年度は、92名の学生に奨学金を給付いたしました。

奨学金受給学生からの感謝の声

- この度は、「深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金」の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。現在、私は一人暮らしをしながら東京電機大学の博士課程へ通い、日々研究に取り組んでいます。本奨学金による支援を学費の一部に充て、研究活動に専念することができています。今後も、支援してくださっている皆様のご期待に応えるよう邁進いたします。
- ご寄付いただいた皆様に、感謝申し上げます。コロナ禍になり思うように学校に行けず、学業に力が入らない時もありました。学校が再開となり、皆様のご支援のおかげで、学ぶ楽しさを授業や実習を通して感じる事ができています。改めまして、募金いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

(2) 中学校・高等学校

① サポート給付奨学金

「学校生活支援奨学金」として、人物・学業ともに優秀であるにもかかわらず、家計急変などの事情により、本校での修学が困難な生徒の学費以外の費用を支給します。

② 東京電機大学中学校・高等学校深井綾教育研修特別奨学金

故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学中学校・高等学校 深井綾教育研修特別奨学金制度」を実施しています。

本制度は、中学校・高等学校に在学する生徒のチャレンジ精神に火をつけ、国内研修および国外研修に積極的に参加することを目的としています。

令和5年度は、カンボジアボランティアツアー(20名)、カナダ特別留学プログラム(12名)、国内では東北スタディーツアー(19名)、ブリティッシュヒルズ英語研修(31名)を行い、参加者計82名に対し、奨学金を給付いたしました。

カンボジアボランティアツアーに参加した生徒の声

- 「僕には今何ができるかな」帰国後の成田空港で、私の頭の中で出た第一声です。カンボジアに行く前はSDGsについてよく分からず、ただの綺麗ごとのように思っていました。しかし、このツアーに参加し、10年後100年後の未来をより良いものに、未来で待っている子どもたちのために1cmでも1mmでも踏み出すべきだと生き方の意識を改められました。これをいうと鼻で笑われることがあるかもしれませんが、カンボジアの小学校の子どもたちの笑顔を思い出せば、胸を張っていけると思います。影響は小さいだろうけど誰かの幸福のために何かできることがあったら、僕には何ができるかな。

(中学2年生)



6. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を平成27年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在学中で学長賞の受賞者のうち、学部又は修士在学中に英語圏の大学等に海外留学(単位取得)を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としています。

令和5年度は、2名の学生(理工学研究科1年生、システムデザイン工学部3年生)がアメリカ合衆国のアーカンソーテック大学、フェアモント州立大学にそれぞれ留学が認められ、有意義な留学生活を送ることができました。

東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム留学生からの報告

●アーカンソーテック大学での留学

英語力を高め、医療機器業界において世界で活躍できる人材になるべく、アーカンソーテック大学で電子工学を学びました。

授業では、英語の聞き取りや板書することに苦労しましたが、MATLABの授業を通して有用な機能や社会での使用例を学べるなど、有意義な時間を過ごすことができました。また、生活面では多くの友達が優しく接してくれて、私も人に対して思いやりをもち、親切にしていこうと思いました。今後は楽しみながら、英語力の維持・向上に努めます。ありがとうございました。



●フェアモント州立大学での留学

この留学を通して学んだことは、行動力・積極性・宗教観です。

まず、生徒の授業内の発言の多さや、教授との関わりの深さに驚きました。そこで私も、積極的に授業を受けるようになり、同時に思い立ったらすぐに計画して動く行動力も身についたと思います。今後は、海外での仕事を視野に入れ、大学院進学等、やりたいと感じたことに向けて積極的に行動していこうと思います。



7. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の42団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス(16団体)

- | | | |
|-------------|-----------------------|--------|
| ・ グリークラブ | ・ 軽音楽部 | ・ 演劇部 |
| ・ アマチュア無線部 | ・ 電子技研 | ・ 吹奏楽部 |
| ・ 合同体育祭 | ・ 卓球部 | ・ 水泳部 |
| ・ IDC ロボコン | ・ ダンス部 B.Light family | ・ 洋弓部 |
| ・ 剣道部 | ・ 硬式庭球部 | ・ 自動車部 |
| ・ 東京千住放送委員会 | | |

(2) 埼玉鳩山キャンパス(6団体)

- | | | |
|-----------|------------------|------------------------------|
| ・ 理工学部体育会 | ・ 放送委員会 | ・ 軽登山部 |
| ・ 卓球部 | ・ TDU スペースプロジェクト | ・ 東京電機大学 Formula SAE Project |

(3) 東京小金井キャンパス(20団体)

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------|
| ・ 硬式テニス部(中学) | ・ 野球部(中学) | ・ 剣道部 |
| ・ 無線部 | ・ 野球部(高校) | ・ 少林寺拳法部 |
| ・ コンピューター部 | ・ 男子バスケットボール部(中学) | ・ 物理同好会 |
| ・ サッカー部(高校) | ・ バスケットボール部(高校) | ・ ダンス同好会 |
| ・ サッカー部(中学) | ・ 男子バレーボール部(中学) | ・ バドミントン部 |
| ・ ソフトテニス部(中学) | ・ 男子バレーボール部(高校) | ・ 鉄道研究部 |
| ・ 吹奏楽部 | ・ 女子バレーボール部(中学) | |

●学生団体よりサポート募金の使途の報告

自動車部（東京千住キャンパス）

1年生から大学院生まで、総勢43名で、活動しています。日々の活動内容は、レースで使用する車両の整備、および大会への参加、そして運転技術向上を目指したトレーニングです。

2台の車両を用いて耐久レースに参加していますが、令和5年度は「本庄軽one耐久N-Nシリーズ 学耐クラス」でシリーズランキング2位、9位。他にも「GT College League 2023」2位と、好成績を収めています。

今回、皆様からいただいたサポート募金は、レース用のタイヤの購入に充てさせていただきました。ご支援いただきましてありがとうございました。



東京千住放送委員会（東京千住キャンパス）

東京千住放送委員会とは、映像、音響、照明の放送3分野で活動している計85名からなる「委員会」で、作品の自主制作や、他の学生団体の活動支援を行っています。機材の準備やオペレーションなど活動において専門知識が必要となるため、機材講習会などを実施して後輩を育成しながら、実際の活動を通して日々さらなる技術向上に努めています。

今回のサポート募金で、アクションカメラ「DJI OSMO ACTION 4」、記憶媒体のSDカードを購入させていただきました。皆様、ご支援ありがとうございました。



Formula SAE Project (埼玉鳩山キャンパス)

フォーミュラSAEは自動車開発のエンジニア育成を目的としたアメリカ発祥の教育プログラムです。マシンの設計技術や開発コストの管理能力を評価する静的イベントとマシンを走行させ性能を評価する動的イベントの二つがあり、それぞれの得点の合計で総合順位が争われます。当チームは2001年に有志の学生によって結成され、翌2002年以降、継続して海外大会に参加している日本唯一のチームです。

皆様からいただいたサポート募金で、タイヤやフレームに使用するパイプ等を購入させていただきました。

2026年オーストラリア大会総合優勝を目指し、チーム一丸となって頑張っております。ご支援いただきましてありがとうございました。



軽登山部 (埼玉鳩山キャンパス)

この度は貴重なご寄付をお寄せ下さり、誠にありがとうございました。

私たち軽登山部は総勢118名で、日帰り月例登山をはじめ、夏合宿や冬のイベントなど、精力的に活動をしています。登山は特に装備を整えるための経済的ハードルが大きなスポーツであり、ご寄付いただいた資金はより活動を充実させることにつながります。

今回、いただいた募金で、寝袋を一つ購入させていただきました。

今後とも、私たち軽登山部をよろしく願いいたします。



8. その他の事業に対する主な寄付

- (1) 東京千住キャンパスの研究・設備の充実
- (2) 埼玉鳩山キャンパススポーツ施設・設備の充実
- (3) 中学の教育・施設に対する支援
- (4) 高等学校の教育・施設に対する支援
- (5) グランドピアノの購入
- (6) ものづくりセンター施設・設備の充実
- (7) 東京千住キャンパスの研究費及び学生の優秀賞の副賞に対する支援
- (8) 分析センターに対する支援
- (9) 国際センターに対する支援
- (10) 産学連携・社会連携事業に対する支援（足立成和信用金庫）
- (11) 学生就職支援
- (12) 健康相談室に対する支援
- (13) 図書購入に対する支援
- (14) 高校一年生への本の購入に対する支援



学校法人東京電機大学サポート募金ご協力のお願い

「学校法人東京電機大学サポート募金」は、各キャンパスでの事業や学生・生徒活動などのさらなる推進を目的に活用させていただく募金です。

寄付者の皆様のご意思を尊重し、「奨学金の充実」「課外活動への支援」「施設・設備の充実」「その他」のほか、各団体・部署が実施するプロジェクトに直接寄付を行うことができる「ファンドdeサポート」など、寄付金の使途を指定することができます。

お申込み方法についての詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.dendai.ac.jp/about/gakuen/foundation/>

【お問い合わせ先】

学校法人東京電機大学 募金事業室

TEL：03-5284-5143

FAX：03-5284-5185

E-mail：bokin@jim.dendai.ac.jp



東京電機大学後援会ホームページ

後援会のお知らせや事業紹介、父母懇談会の日程、『学苑』のバックナンバーなどを掲載しています。



ぜひご覧ください。
今すぐQRコードからアクセス！

東京電機大学後援会



アゴラ 学園広報誌「TDU Agora」

「TDU Agora」では、毎月、本学の学生・生徒並びに教員の活躍、大学、中学校・高等学校の取り組み、イベントなど、沢山の情報をお届けしています。是非ご覧下さい！



「TDU Agora」はこちらから
ご覧いただけます

TDU Agora



大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれています。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム、情環	
東京千住キャンパス事務部(教務担当)	03-5284-5333
●理工	
理工学部事務部(教務担当)	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(学生厚生担当)	03-5284-5340
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(キャリア支援・就職担当)	03-5284-5344
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	
入試センター	03-5284-5151

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	
経理部(会計担当)	03-5284-5131

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	
国際センター	03-5284-5208

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	
後援会事務局(学生支援センター(学生厚生担当))	03-5284-5340

※工=工学部、工2=工学部第二部、理工=理工学部、情環=情報環境学部、未来=未来科学部、システム=システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせくださいれば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第169号(非売品)

2024年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 残間直光

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局
(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>